

説明：

人類の歴史における最も難解な問題に関する序説と、その答えを見つけ出すことの出来る源泉についての議論。第一部：答えの源泉。

より Dr. Bilal Philips

掲載日時 04 Jan 2010 - 編集日時 30 Sep 2013

カテゴリ：[記事](#) > [イスラームの信条](#) > [人生の目的](#)

### 序説

創造の目的とは、あらゆる人間が一度は頭を悩ませるテーマです。誰もが人生のとある時点で、“なぜ私は存在するのか？”、または“私がこの地球に存在する目的とは何なのか？”という疑問を持つことでしょう。



人間、そしてこの世界を構成している多彩で難解なシステムは、それらを創造した至高者の存在を暗示します。設計には設計者が伴うものです。私たちは海岸で砂の上に残された足跡を見つけると、そこを少し前に誰かが歩いたのだろうということを直感的に結論付けます。それが海からの波によって、人間の足跡そっくりな窪みが偶然形成されたものであるなどとは誰も予測しません。このことと同様、人は本能的に、何の目的もない存在として創られたと結論付けたりはしません。はっきりとした目的のある行動こそが人間の知恵による自然な産物であるため、人間は至高かつ叡智に満ちた存在が特定の目的のために自分たちを創造したのであると結論付けるのです。従って人間は人生の意義を理解し、最終的に有益な行動を起こすために、自分たちが存在する目的というものを知らなければならないのです。

しかしながら、神の存在を否定した人々というのは歴史を通して存在して来ました。彼らにとっては事象というもの永遠であり、人類は単なる偶然出来た元素の組み合わせにより発生したものである、という見解なのです。その結果、彼らにとって“なぜ神は人間を創ったか”という質問には何の答えも見出せません。彼らは存在の目的など無いとします。しかし歴史を振り返れば、圧倒的多数の人々はこの世界をある目的と共に創造した至高者の存在を信じて来ましたし、今なお信じ続けています。彼らにとって創造主と人間の存在理由を知ることは重要なことだったのであり、依然として重要なことなのです。

## 答え

“なぜ神は人間を創造したのか？”という質問に答えるためには、まず最初にどの観点からそれが問われているのかを見極めなければなりません。神による見解であれば、“神が人間を創造した原因は何か？”という意味になるでしょうが、人間による見解であれば、“神が人間を創造したのはどのような目的によるものか？”という意味になるでしょう。双方の観点は、“なぜ私は存在するのか？”という興味深い質問の側面を表現します。この二つの質問を、啓示による明瞭な描写に基づいて調査していきましょう。これは人間の推測といったようなテーマではありません。なぜなら人間による当て推量は、こういった問題に関して完全な真実を導き出すことが出来ないからです。自らの脳、そしてより高度な存在である精神の働きに関する理解が完全でない現状において、いかにして人間は自らの実在に関する知的な推論が出来るのでしょうか？それ故、この問題をこれまで思案してきた多くの哲学者たちは無数の答えを導き出して来ましたが、それら全ては証明することの出来ない、仮説の域を出ませんでした。このテーマに関する質問は多数の哲学者によって、私たちは実際には存在しておらず、全世界は幻想に過ぎないという主張まで生み出しました。例えば古代ギリシャの哲学者プラトン（紀元前427年 -

紀元前347年）は、人が知覚によって知り得る可変性の日常は真の実在ではなく、その陰に投影されるうわべの現象に過ぎないとしています。また前述したように、その他の多くの者たちは人間の創造には全く目的が存在しないと主張し続けます。彼らによると、人間の存在は偶然の産物に過ぎないのです。もし、無生の物質がただ単に全くの偶然から有生に進化したのであれば、生命の目的はないということになります。人類の親戚であると言われる猿は存在について悩むことはありません。それではなぜ人類はそれに関して悩むべきなのでしょう

か？

大半の人々は、私たちが創造されたのはなぜかと、時折しばらく考え込んだ後に頭の隅に追いやってしまいがちですが、人間としてその答えを知ることは極めて重要なのです。正しい答えの知識がなければ、人間はその周りにいる動物と区別が付かなくなります。飲食や生殖などの動物的欲求が人間の存在する目的となれば、人間の努力はこれらの限られた領域に集中します。物質的な満足が人生において最も重要な目的に発展してしまえば、人間の存在は最も下等な動物のそれよりも墮落します。人間に自らの存在目的という知識が欠けていれば、神に与えられた知性を常に誤用することになります。墮落した人間の精神は、その能力を麻薬や爆弾などの創造に使用し、姦通、ポルノ、同性愛、占い、自殺などに熱中させるのです。生命の目的に関する知識が無ければ人間の存在はあらゆる意味を失い、常に無駄なものとなり、来世における永久の至福という報奨は完全に消失されるのです。それ故、“なぜ私たちはここにいるのか？”という質問に人間が正しく答えることは、極めて重要な問題なのです。

人間は常々、他の人間から答えを求めるものです。しかしこれらの質問に対し唯一、明瞭で的確な答えを得ることの出来るものは、神により啓示された諸啓典からのみなのです。神が人間に対し、預言者を介して啓示を下したのは、人間が自分たちだけの力では正しい答えに辿り着くことが不可能であるからなのです。神の預言者たちは皆、“なぜ神は人間を創造したのか？”という質問に答えています。

この記事のウェブアドレス：

<http://www.islamreligion.com/jp/articles/194>

Copyright © 2006-2013 [www.IslamReligion.com](http://www.IslamReligion.com). All rights reserved.